

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)



産業廃棄物処理計画書

R7 年 6月 24日

都道府県知事
(市長)

殿

提出者 〒873-3201

住 所 大分県国東市安岐町吉松2609番地

氏 名 代表取締役 河野 一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0978-67-3061

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 河野牧場
事業場の所在地	大分県国東市安岐町吉松2609番地
計画期間	R6年4月1日～R7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	農業
② 事業の規模	牛 1,200頭
③ 従業員数	9人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	動物の糞尿 ① 自ら堆肥化 ② 自ら処理し、再利用 動物の死体 ① 処理業者へ委託処理

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表 (廃棄物統括責任者)

全て

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (R6 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排 出 量	8,160 t	4 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	動物の死体
	排 出 量	8,160 t	4 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ R6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	5,491 t	t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の糞尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	5,491 t	t
	(今後実施する予定の取組) 堆肥化		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
① 現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
① 現状	【前年度（ R6 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	動物の死体
	全処理委託量	4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(これまでに実施した取組)	

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全処理委託量	4 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			